



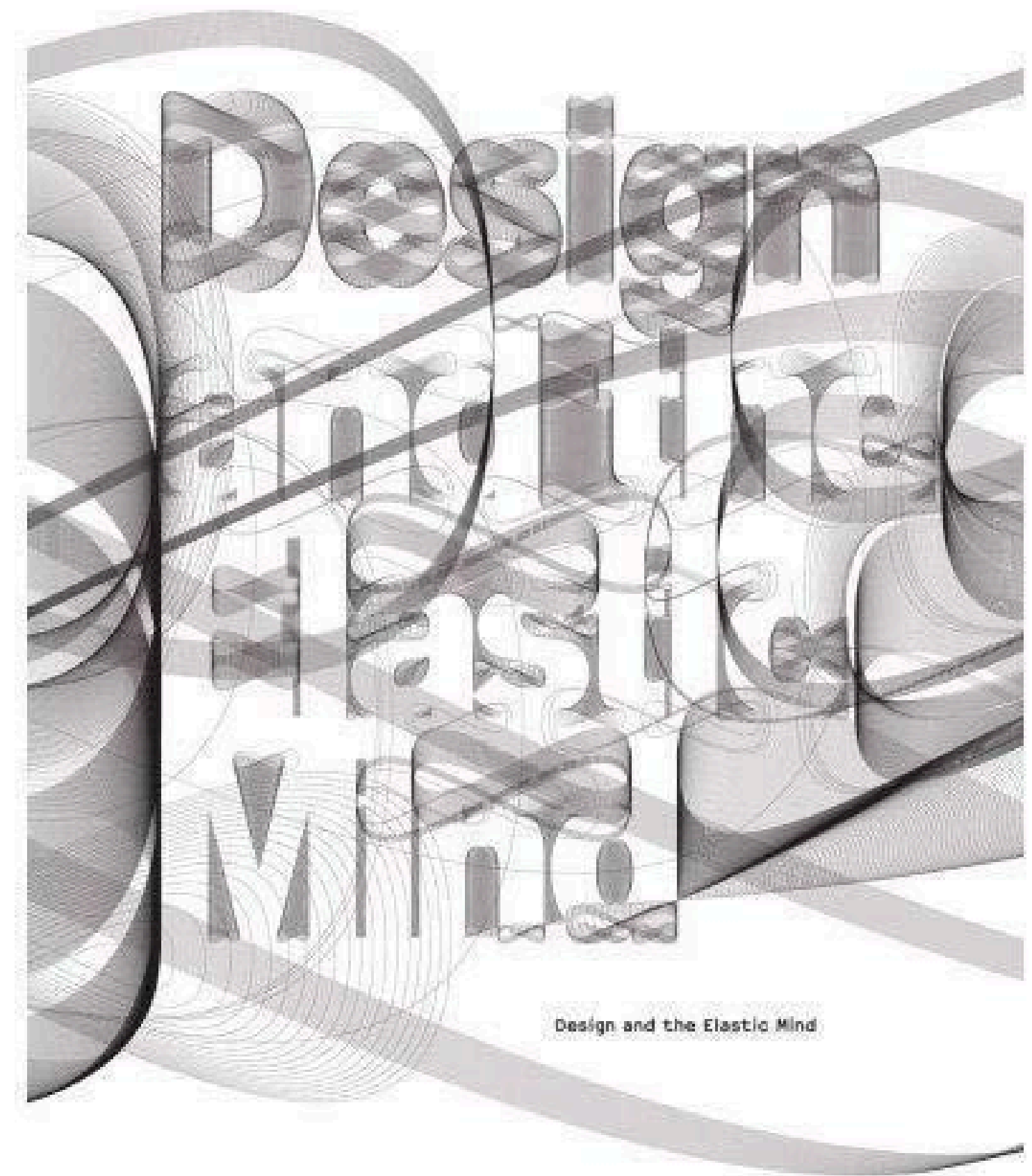
**パオラ・アントネッリ**

# Design and the Elastic Mind

- ・キュレーター：パオラ・アントネッリ（Paola Antonelli）
- ・テーマ：科学技術の急速な進化に対して、人間の思考や行動がどのように「柔軟に」適応していくかを、デザインの視点から探る。

## 展示の特徴

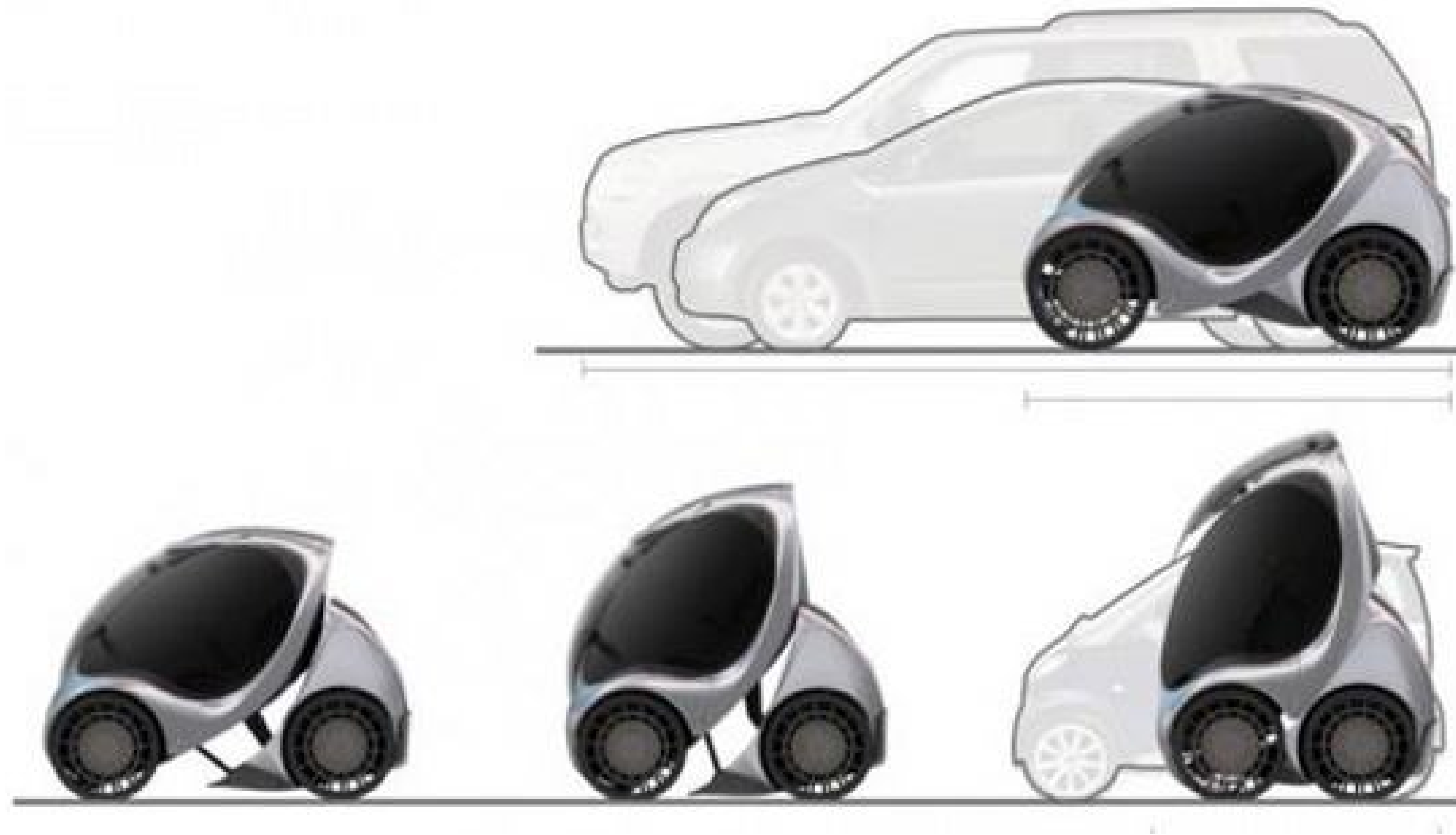
- ・スケールの多様性：展示物はナノスケールから宇宙規模まで。たとえば、ナノテクノロジーを使った素材や、宇宙空間での生活を想定したプロダクトなど。
- ・分野横断的：デザイナー、科学者、エンジニアが協力して制作した作品が多く、学際的なアプローチが特徴。
- ・未来志向：単なる製品ではなく、「未来の生活」や「人間の進化」に関するビジョンを提示する作品が多い。



展示作品 1

# CityCar

都市交通の未来を見据えた、折りたたみ可能な電気自動車

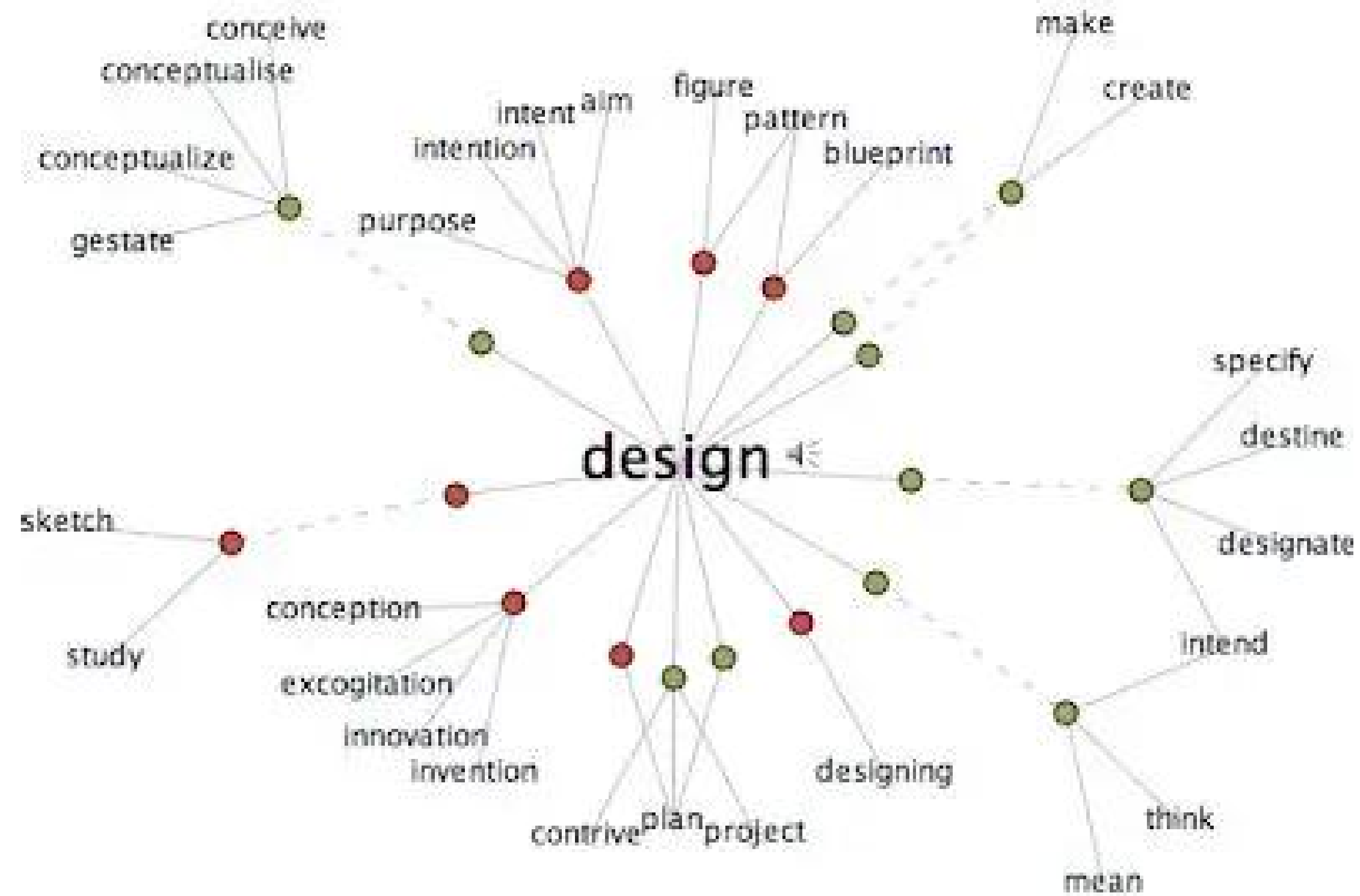


駐車スペースを最小限に抑え、シェアリングを前提とした設計

展示作品 2

# Visual Thesaurus

言葉の意味や関連語をネットワーク状に可視化するインターフェース



語彙のつながりを視覚的に理解できる教育ツール

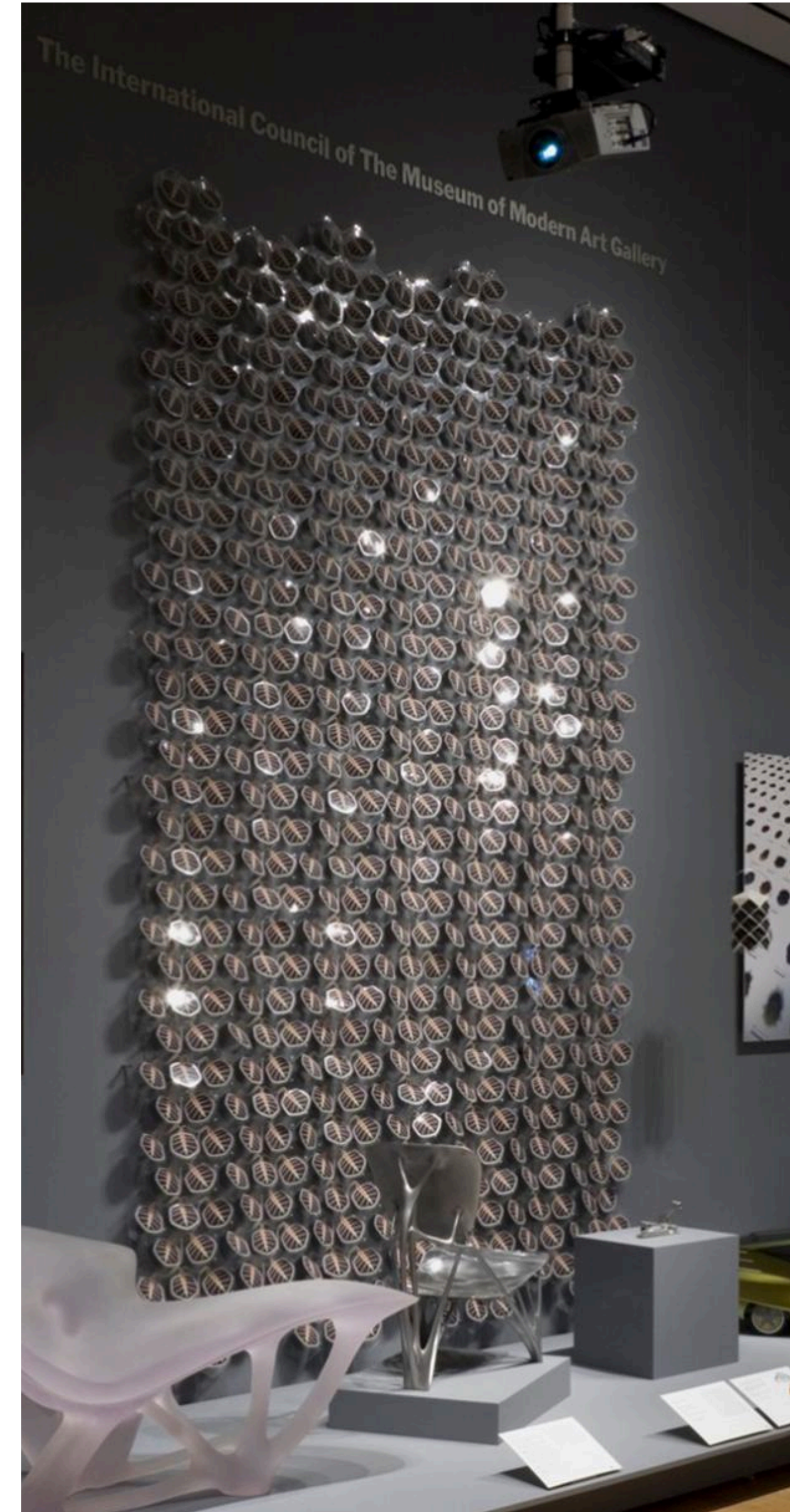


展示作品 3

# Mind Chair

脳波を感知して光のパターンを変化させる椅子

駐車スペースを最小限に抑え、シェアリングを前提とした設計



## メッセージ

### 1. デザインは「翻訳者」である

彼女は、急速に進化する科学技術（ナノテクノロジー、情報科学、バイオテクノロジーなど）と、私たちの日常生活の間にある「ギャップ」を埋める存在として、デザインを“翻訳者”と位置づけた。

### 2. 人間の「柔軟な思考」の重要性

展覧会タイトルにもある「Elastic Mind（柔軟な思考）」とは、変化に対して恐れず、創造的に適応していく人間の能力を指す。彼女は、この柔軟性こそが21世紀の最も重要な知性であると考えた。

### 3. 科学とデザインの融合

この展覧会では、科学者とデザイナーの協働によって生まれた作品が多く展示された。彼女は、デザインが科学の成果を社会に届けるための「橋渡し」になると強調している。

### 4. スケールの拡張：ナノから宇宙まで

展示作品は、ナノスケールのDNA構造から、都市交通、宇宙空間での生活まで多岐にわたった。これは、デザインがあらゆるスケールで人間の生活に関与できることを示している。

### 5. デザインは「美」だけではない

アントネッリは、デザインを「美しいものを作る」だけの行為ではなく、社会的・倫理的・文化的な問題に対する思考の道具として捉えている。

この展覧会は、単なる展示ではなく、未来に向けた思考の実験室のようなものだった。彼女は観客に対して、「変化を恐れず、柔軟に、創造的に未来を迎えよう」と呼びかけていた。